

機械器具 51 医療用嚙管及び体液誘導管

管理医療機器 先端オリーブ型カテーテル JMDN：10737000

ザヘルス チーマンカテーテル

再使用禁止

【禁忌・禁止】

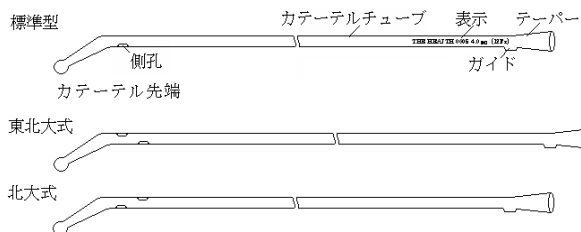
・再使用禁止

〈適用対象（患者）〉

・過去に「天然ゴム」によるアレルギーの経験がある患者への使用は禁止。

【形状・構造及び原理等】

- ・本品は単管の導尿管カテーテルである。
- ・先端は球状で鈍角に曲がり側孔を有しており、穴数、穴位置などの違いにより各タイプがあり、天然ゴムを使用している。



【使用目的又は効果】

・本品は尿道狭窄症例などにおいて、ブジー効果を得ながら経尿道的に膀胱内に挿入し、貯留した尿を体外へ排出するカテーテルである。導尿、採尿、膀胱洗浄を行うために使用する。

【使用方法等】

- ・滅菌前に水洗をすること。アスピレーター等を用いて内部に勢よく水道水を通すと、なお良い。
 - ・完全に乾燥させる。
 - ・本品は未滅菌品である。必ず高圧蒸気滅菌（121℃、15分間）または医療機関で使用されるエチレンオキシドガス滅菌装置により、EOG滅菌（450～1000mg/L濃度のエチレンオキシドガスを使用、滅菌2時間 70℃未満、加湿下、エアレーションは使用前まで24時間以上70℃未満）を行った上で使用すること。
- また、両方の滅菌方法とも、インジケーター等を用いて滅菌効果を確認しながら実施すること。

1. カテーテルに滅菌（EOG滅菌法又は高圧蒸気滅菌法）を施す。
2. 術者の手指を洗浄後、消毒綿等を用いて患者の外尿道口を清拭する。
3. 滅菌手袋を装着した右手でチーマンカテーテルを持ち、キシロカインゼリー等の潤滑剤をカテーテル先端部からカテーテルチューブ部分に十分塗布する。
4. 患者に仰臥位をとらせ、陰茎を立てるように持ち上げて、患者の頭部方向に倒しながら牽引する。そのまま保持しながらカテーテルの先端屈曲側を、頭部方向に向けて、外尿道口から挿入する。陰茎を真上に牽引した角度のまま挿入しないこと。
5. 挿入中はカテーテルを回転させることなく、テーパー部手前にあるガイドの位置が、常に患者の頭部方向にあることを確認しながら、膀胱まで尿道内をゆっくり進める。なお、その後、かん子を使用してカテーテルを保持しても良い。
6. カテーテル先端が膀胱内に進入したら、陰茎を患者の足側に向けて、接続口から膿盆等の採尿用具に尿を排出する。開放式採尿バッグを用いる時は、確実に接続し、膀胱より低位置にバッグを置く。尿器や膿盆を用いる時は、ベッド上に置き、尿の飛散が無いように留意する。いずれも清潔操作を心がけ、泌尿器への感染防止につとめる。
7. 導尿後、カテーテルを抜去するときは、カテーテルを回転させずにゆっくりと患者頭部方向に引く。

【使用上の注意】

1. 使用注意（次の患者には慎重に適用すること）
 - ・天然ゴムは、かゆみ、発赤、蕁麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状をまれに起こすことがある。このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、医師に相談すること。
2. 重要な基本的注意
 - ・刃物等鋭利な器具に触れると切断する恐れがあるので注意すること。
3. 相互作用（他の医薬品・医療機器等との併用に関すること）
【併用注意】（併用に注意すること）
 - ・薬品によっては膨潤したり、浸透・着色・脱色・表示落ちたりする場合がありますので事前に確認の上使用すること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
 - ・直射日光、高温多湿、水ぬれを避けて冷暗所に保管すること。
2. 有効期間
 - ・包装の使用期限欄を参照のこと。【自己認証（自社データ）による】

【主要文献及び文献請求先】

1. 主要文献
 - (1) 荒川創一.尿道カテーテルによる感染を起こさないための看護：INFECTION CONTROL,5(3)42-45,1996
 - (2) 畑尾正彦 他 監修. 導尿、ナースのためのチューブ管理マニュアル：学研.200-205,1998
 - (3) 都筑正和 監修.消毒剤の使い方 4 消毒の実際 殺菌・消毒マニュアル：医歯薬出版.66・97,2000
 - (4) 松永佳世子、矢上晶子.ラテックスアレルギー安全対策ガイドライン 2006 誕生編および皮膚科編：日本ラテックスアレルギー研究会会誌 vol.10 No.1,32-40,2006
2. 文献請求先
株式会社 イズモヘルス
〒399-7104
長野県安曇野市明科七貴6057番地
TEL：0263-62-2392
FAX：0263-62-4548

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：株式会社 イズモヘルス
TEL：0263-62-2392
製造業者：株式会社 イズモヘルス